

平成19年度総合防災訓練

防災意識の高揚を 目的に

マグニチュード7.2規模の直下型地震が市内で発生したことを想定して、8月26日、美郷台小学校と松子地先のふれあいの丘街区公園を会場に総合防災訓練が行われました。この訓練は大地震に対する市民の防災意識の高揚と防災行動力の向上を図ることを目的としたもので、約900人の参加者は防災関係機関との連携協力を図りながら、各訓練に取り組みました。



自主防災会による初期消火訓練



張り切って総踊り

飯仲ふれあい祭り

地域の絆を深める 夏のイベント

地域の親睦を深めるイベントとして親しまれ、今年で20回目を迎える飯仲ふれあい祭りが8月26日に開催されました。晴天となった夏空の下、参加者たちは手作りの山車を引きながら威勢のいい掛け声とともに地区内を巡回。公津の杜駅前では「笹踊り」や「神前の舞」など地区独自の踊りも披露され、多くの見物客から盛大な拍手を送られていました。



公津の杜駅前でも踊りを披露

成田ふるさとまつり2007

二日にわたって大にぎわい

成田ニュータウン地区の夏の風物詩・成田ふるさとまつりが、ボンベルタ百貨店周辺で8月18日・19日に開催されました。たくさんのちようちんで彩られたおまつり通りは、二日間とも人があふれる大にぎわい。山車にみこし、踊りに歌にとさまざまな催しが行われ、訪れた人たちを祭りの熱気で包みました。

おふくろの味教室

誰もがほっと落ち着く あの料理を

保健福祉館大栄分館で8月20日、「おふくろの味教室」が行われました。大栄農家生活改善研究会が、誰もがほっと落ち着く“おふくろの味”を地域の人たちに伝えようというもの。参加者は巻き寿司の出来栄えについて「バッチリだよ」と笑顔で話していました。



家族の喜ぶ顔が見たくて

下総ふるさとふれあい納涼まつり

夏の夜に涼を求めて

下総ふるさとふれあい納涼まつりが8月16日、下総運動公園野球場で開かれ、会場一帯はおよそ3,000人の人出でにぎわいました。訪れた人たちは、特設ステージでのクイズ大会や抽選会、広場での盆踊りなど多彩なイベントを満喫。フィナーレを飾る打ち上げ花火が夜空を鮮やかに染めると、至るところで歓声が上がりました。



みんなと一緒に盆踊り



行き先はロケットに聞いて

水ロケット作り

ペットボトルで 自作のロケット飛ばし

夏休み子ども教室「水ロケット作り」が8月18日、大栄公民館で開催されました。参加者14人は家から持ってきたペットボトルをロケットに改造。完成後は早速公民館裏の広場に繰り出し、水を入れたロケットに空気を送り込んで1・2・3で発射。中には真横に飛んでいくロケットもありましたが、なんとか全員が発射に成功しました。水しぶきを上げて飛んで行くロケットで全員水浸しになりながらも「夏休みの自由研究としてまとめようかな」という参加者もいるなど、自分のロケットの出来栄えに満足した様子でした。